



2021年5月10日

各 位

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション
代表者 代表取締役社長 百瀬 二郎
(コード番号 8025 東証第一部)
問合せ責任者 代表取締役専務取締役 田中 文人
(TEL 03-3279-1330)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年10月30日公表の2021年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、2021年3月期第4四半期累計期間において特別損失を計上することになりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,000	70	150	100	25.11
今回修正予想 (B)	17,000	180	260	140	35.16
増減額 (B - A)	0	110	110	40	
増減率 (%)	0.0	157.1	73.3	40.0	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	17,797	200	280	441	110.94

2. 修正の理由

当連結会計年度における当グループの業績につきましては、利益面において前回の予想を上回る見通しであります。これは主に、新型コロナウイルス感染症が拡大した影響を受けて、洋装事業におけるメンズ事業、レディス・OEM事業、ホームファニッシング事業、和装事業が苦戦する一方で、洋装事業において衛生商品・セールスプロモーション商品の受注が増加したこと並びに健康・生活事業においてEC販路、TV通販での販売が好調に推移した結果、営業全体として収益が改善したことによるものであります。

3. 特別損失の計上について

(1) 新型コロナウイルス感染症による損失

当第4四半期において、「新型コロナウイルス感染症による損失」として7百万円を特別損失として計上いたします。これは2回目の緊急事態宣言等に伴う休業・時短要請等への対応に起因した費用であります。その結果、当連結会計年度における新型コロナウイルス感染症による損失は82百万円となりました。

(2) 組織再編関連費用

当第4四半期において、一層の経営効率化を図るため当社の連結子会社であるツカモト市田株式会社の本社機能を移転いたしました。その移転による固定資産の廃棄や原状回復費等の費用17百万円を組織再編関連費用として特別損失に計上いたします。その結果、当連結会計年度における組織再編費用による損失は27百万円となりました。

(3) 減損損失

当社グループが展開する和装事業において、収益性の低下により「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく減損の兆候が認められたことから、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な状況も考慮した上で、将来の回収可能性を検討いたしました。その結果2021年3月期第4四半期において、当社及び連結子会社が保有する固定資産の一部の帳簿価額を回収可能価額まで減損し「減損損失」27百万円を特別損失として計上することとなりました。

以上の結果、当第4四半期累計期間における特別損失の合計は137百万円となりました。

(注) 上記特別損失につきましては、「1. 業績予想の修正について」に反映しております。

(注) 上記の業績予想の修正金額につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上